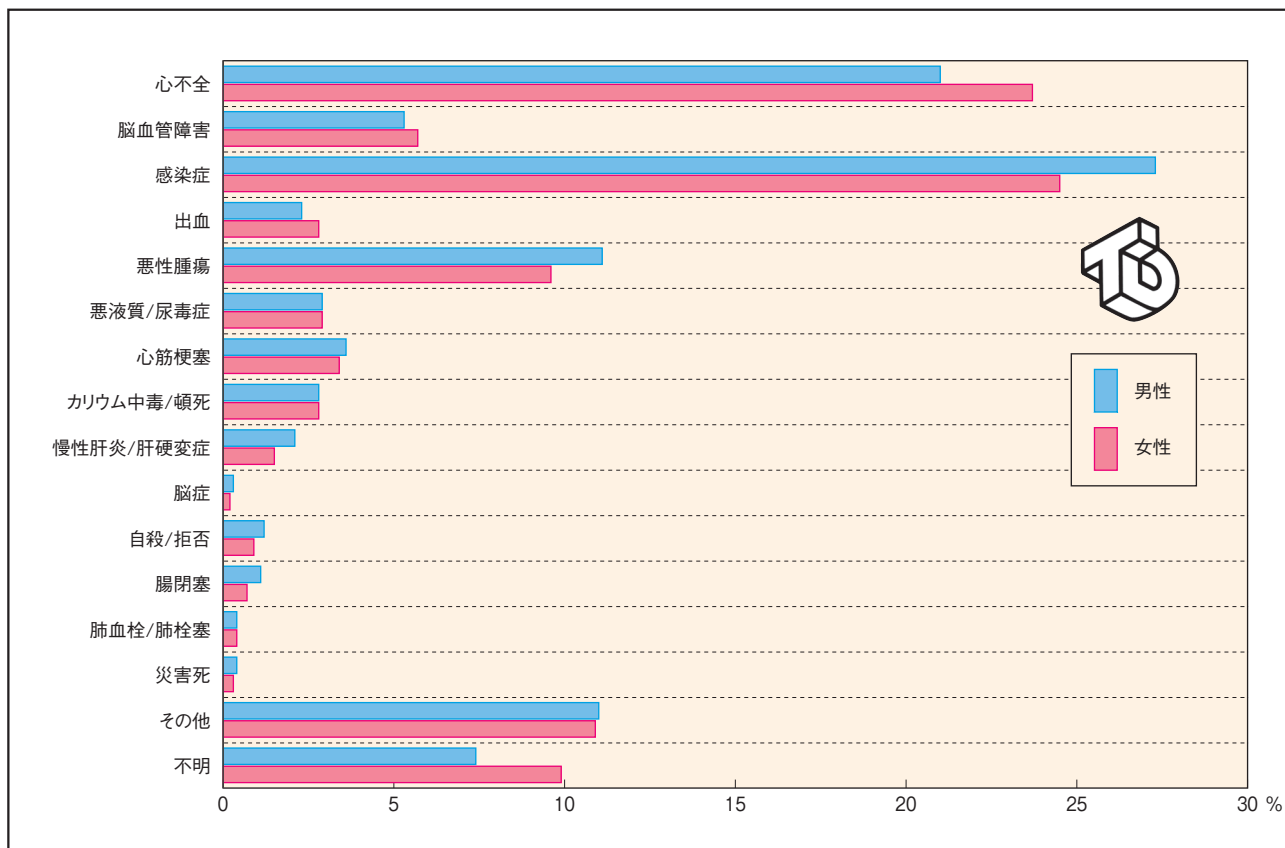


5) 死亡原因

(1) 導入患者の死亡原因分類 (図表16)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全	409	254	663	0	663
(%)	(21.0)	(23.7)	(21.9)		(21.9)
脳血管障害	104	61	165	0	165
(%)	(5.3)	(5.7)	(5.5)		(5.5)
感染症	532	263	795	0	795
(%)	(27.3)	(24.5)	(26.3)		(26.3)
出血	44	30	74	0	74
(%)	(2.3)	(2.8)	(2.4)		(2.4)
悪性腫瘍	216	103	319	0	319
(%)	(11.1)	(9.6)	(10.5)		(10.5)
悪液質/尿毒症	57	31	88	0	88
(%)	(2.9)	(2.9)	(2.9)		(2.9)
心筋梗塞	71	36	107	0	107
(%)	(3.6)	(3.4)	(3.5)		(3.5)
カリウム中毒/頓死	54	30	84	0	84
(%)	(2.8)	(2.8)	(2.8)		(2.8)
慢性肝炎/肝硬変症	40	16	56	0	56
(%)	(2.1)	(1.5)	(1.9)		(1.9)

死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
脳症	5	2	7	0	7
(%)	(0.3)	(0.2)	(0.2)		(0.2)
自殺/拒否	24	10	34	0	34
(%)	(1.2)	(0.9)	(1.1)		(1.1)
腸閉塞	22	7	29	0	29
(%)	(1.1)	(0.7)	(1.0)		(1.0)
肺血栓/肺栓塞	7	4	11	0	11
(%)	(0.4)	(0.4)	(0.4)		(0.4)
災害死	7	3	10	0	10
(%)	(0.4)	(0.3)	(0.3)		(0.3)
その他	214	117	331	1	332
(%)	(11.0)	(10.9)	(10.9)	(100.0)	(11.0)
不明	145	106	251	0	251
(%)	(7.4)	(9.9)	(8.3)		(8.3)
合計	1,951	1,073	3,024	1	3,025
(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
記載なし	14	9	23	0	23
総計	1,965	1,082	3,047	1	3,048

数値下のかっこ内は列方向の合計に対する%です。

患者調査による集計

解説

2009年新規導入患者の2009年末までの死亡原因を性別に分類した図表である。2003年から死亡原因コードを国際疾病分類第10回修正版 (ICD-10) によるコード番号に変更した。男性では、感染症 (27.3%)、心不全 (21.0%)、悪性腫瘍 (11.1%)、その他 (11.0%)、不明 (7.4%) の順で多く、女性では感染症 (24.5%)、心不全 (23.7%)、その他 (10.9%)、不明 (9.9%)、悪性腫瘍 (9.6%) の順が多かった。男性の順位は2008年と同様であった。女性では心不全による死亡が2008年では27.4%と第一位であったが、2009年には感染症との順位が逆転した。